

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	子ども家庭支援の心理学 [Psychology of child and family support]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750162	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	本田 和也			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP3(1) D P3(3)		
授業概要	<p>本授業の目的は、保育者に求められる心理面での専門性を養うことである。特別支援学校(聴覚障害)幼稚園での乳幼児保育の経験を活かし、生涯発達とは何かを捉えた上で、乳幼児期から老年期までの発達を段階ごとに学ぶとともに、子育てを取り巻く社会状況や親子・家族関係、多様な家庭形態等の理解を図っていく。</p> <p>また、事例等を通して具体的な支援のあり方についての理解を深めていく。</p>						
関連する科目	履修前に「発達心理学」を履修しておくことが望ましい。						
授業の進め方と方法	基本的に講義を中心とし、パワーポイントや動画など多様な手段を用いて展開する。また、学びをさらに深めるために、グループによるディスカッションやプレゼンテーションを行う経験を通して、深化を図る。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 生涯発達とは何か 生涯発達とは何かの問いに対して、基礎的な知識を学ぶ。 乳幼児期 乳幼児期の発達①－1歳以上3歳未満児－ 乳幼児期の発達②－3歳以上児－ 学童期前期の発達 学童期後期の発達 思春期・青年期の発達 成人期・老年期の発達 各段階の発達を理解した上で、発達課題を考えることができる。 子育てを取り巻く社会的状況 家族・家庭の意義と機能、親子・家庭関係の理解 子育ての経験と親としての育ち－ライフコースと仕事・子育て－ 多様な家族形態とその理解 特別な配慮を必要とする家庭 発達支援の必要な子どものいる家庭 子育て家庭をめぐる現在社会の社会的状況と課題について理解することができる。 子どもの精神保健 子どもの精神保健とその課題について理解することができる。 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 生涯発達に関する心理的变化を説明することができる。 家庭・家族の意義や機能を踏まえ、保育者が行う家庭支援について考えることができる。 発達支援の基本となる姿勢に基づき、保育保育実践を理解することができる。 						
授業時間外の学修	<p>【予習】 授業の中で、次回の授業内容・課題などを提示するので、各自で確認したり、調べたりしておく(1時間程度)</p> <p>【復習】 テキストや適宜配布したプリント等を基に、習得した内容を整理したり、関連する資料・図書・文献等でさらに深めたりしておく(1時間程度)</p>						
課題に対する フィードバック	毎回の授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等は、次時の授業時間に解説を行う。	評価方法	通常の授業に臨む態度と授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等の内容(20%)、及び最終試験(80%)で総合的に評価する。				
テキスト	青木紀久代編(2020)『シリーズ知のゆりかご子ども家庭支援の心理学』みらい(2,100円+税) なお、必要に応じてプリントを配布する						
参考書	厚生労働省編(2018)『保育所保育指針解説』フレーベル館(320円+税)						
備考							